

## 2 学習指導

### (1) 授業

#### ア 授業を学びへ

**子供の「問い」や「思い」が学びの第一歩**

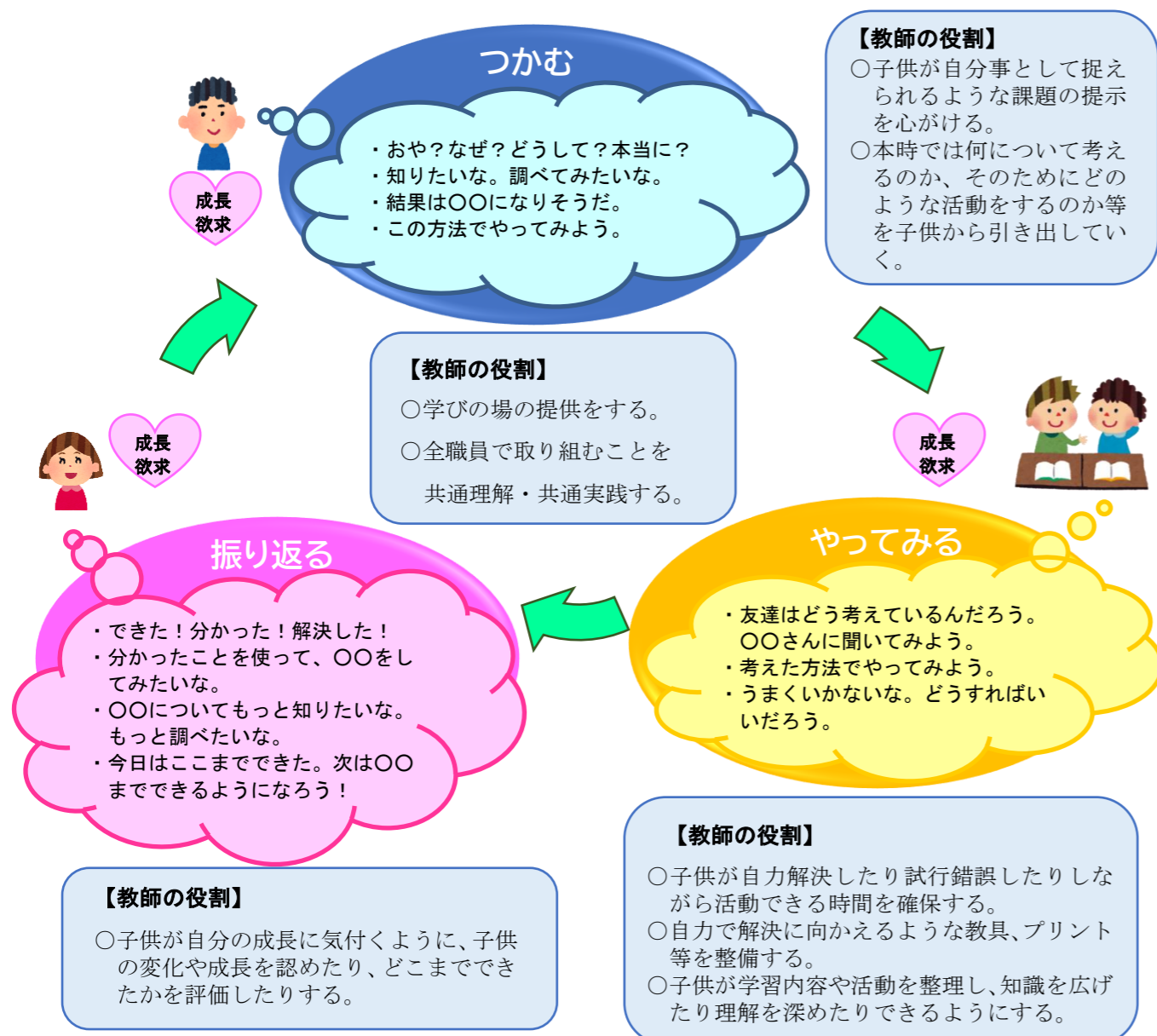
なぜかな？ どうしてかな？ → 成長欲求 → 考えてみたい できるようにしたい → 「学び」のある授業へ

**授業における学びとは**  
 子供が自ら「問い」や「思い」をもち、問題解決のために自分で調べてみたり、友達や先生と、それぞれの考えを話したり聞いたりするなどして、見通しをもって粘り強く取り組むこと。そして、その時間での自分の変化や成長を実感し、次の学びや生活の中で生かそうとすること。

**型からの脱却 学びのある活動へ**  
 授業（活動）のねらいを明確にもち、子供自身が、「何のために行うのか」という目的をもって活動できるようにしましょう。

**子供自身が学びを自覚できるように**  
 振り返りの時間を確保し、子供が自ら学んだことを確かめ、次の学びへの意欲を高めていけるようにしましょう。

#### イ 授業を学びにする教師の役割と「自ら学び続け学び合う子供」の姿



#### ウ 授業を学びにするための授業づくりチェック

##### つかむ

- 子供が自分事として捉えられるような課題の提示をしている。
- 子供と一緒に「めあて」を立てている。
- 子供自身が「見通し」をもてるようにしている。

##### やる

- 子供自身が自力解決したり試行錯誤したりしながら活動できる時間になっている。
- 必要に応じて「書く活動」や「話し合う活動」を取り入れている。
- 机間指導等で子供を見取り、「個人差に応じた支援」をしている。
- 子供が知識を広げたり深めたりすることができるような支援（話し合う活動）のコーディネートや板書の工夫をしている。

##### 振り返る

- 本時で学習したことを明確にするための「まとめ」をしている。
- 子供自身が自分の変化や成長に気付き、次の学びへの意欲を高めることができるための「振り返り」をしている。

※ 具体的な方法は、別冊資料 P9～「授業を学びにするための教師の役割 Q&A」をご覧ください。

#### エ 関連資料

授業づくりのステップ 1・2・3 - 佐賀県教育センター  
[www.saga-ed.jp](http://www.saga-ed.jp) > 01\_syou\_kokugo > documents > saga\_step\_1

授業づくりのステップ 1・2・3 - 佐賀県教育センター  
[www.saga-ed.jp](http://www.saga-ed.jp) > 01\_syou\_kokugo > documents > saga\_step\_2

学力向上のための手びき | 西部教育事務所  
[www.education.saga.jp](http://www.education.saga.jp) > s-kyoikujimusho > gallery\_detail

「教師のしおり」 佐賀県教育委員会



#### 【コラム】 どのように学ぶか

##### ～「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善

「アクティブ・ラーニング」と聞くと、グループ・ディスカッションや子供たちがプレゼンテーションをする授業形態をイメージされるかもしれませんが、新しい学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善」とは、子供たちの「学び」そのものが、「アクティブ」で意味あるものとなっているかという視点から授業をより良くしていくことを指します。具体的にどのような授業を目指すか、リーフレットでは4つの例を挙げています。

- ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業
- ・見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業

このような授業を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けられるようになることを目指します。

新しい学習指導要領リーフレット 制作後記～リーフレットを読み解くためのヒント～ 文部科学省

